



武庫の宝

令和6年 12月



三田市立武庫小学校長 大向 勲

《「やってみよう」の2学期!》

11月は、8日に4年生の連合音楽会、22日には阪神地区の先生方を招いての体育の研究発表会。先週は28日に6年生の平和集会、翌日の29日には全校生で取り組んだ児童会行事「武庫フェス」と様々な行事から「価値発見」がありました。

それぞれの行事当日からはもちろんですが、その価値発見ができるのは、日々の子

どもたちの積み重ねがあるからこそであり、その瞬間瞬間に、先生から、家族から、そして仲間から「価値発見」が行われているのだろうと思うのです。それはたった一言であっても大きな力になるはずです。

「武庫フェス」当日のみ設置されていた「武庫フェス かはっけんの木」を見た時「全校生に『価値発見』は確実に浸透している！」そう確信しました。委員会の取り組みとして子どもたちの力で実施され、限られた時間にここにメッセージを記す子どもたちがいる…本当に感激しました。「きっと日常的に『価値発見』を行おうとしてくれている…」そう思いました。

ひとつのメッセージを紹介します。

「みんながんばっていたし、『ありがとう』が言えていた。」

「ありがとう」という言葉に価値を感じていないと書けないメッセージだと思いました。子どもたちの姿、言葉から私たちはたくさんのことを教えられます。2学期も残り3週間余り、日々を大切に過ごしていきたいと思います。



保護者、地域の皆様へお願い

ご存じの方も多いかと思いますが、今全国的に教員不足があちこちで問題となり、様々なメディアで取り上げられています。兵庫県、三田市も例外でなく、本校も10月下旬から担任でなく全校生にフリーの立場で関わっていた笠谷主幹教諭が担任業務に、そして12月からは武内教頭も担任業務を兼務する状態となりました。未だに代替教員は配置されておらず、市教育委員会も全力で教員配置に向けて努力していただいておりますが、厳しい状況は続くことが予想されます。

特にこれまで、保護者、地域の皆様からの問い合わせ等、学校の窓口として武内教頭が基本対応しておりましたが、児童の教育活動中は担任業務を基本とするため極めて難しい状態となります。何卒、保護者、地域の皆様には本校の状況をご理解の上、ご対応、そしてお力添えをよろしくお願いいたします。